

平成30年度 病害虫発生予察情報

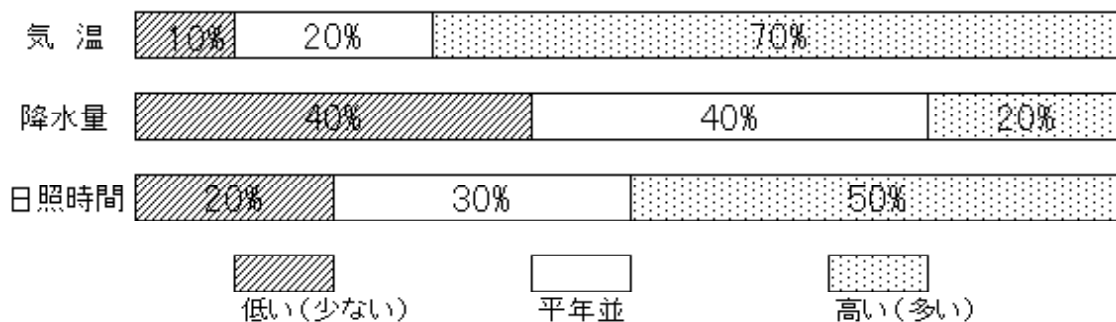
発生予報第5号（7月下旬～8月中旬）

平成30年7月18日
島 根 県

予報の概要

区分	農作物名	病害虫名	予想発生量		
普通作物	イネ	葉いもち	やや少ない		
		穂いもち	やや少ない		
		紋枯病	平年並		
		白葉枯病	平年並		
		縞葉枯病	平年並		
		ヒメトビウンカ	平年並～やや多い		
		ニカメイチュウ	平年並		
		ツマグロヨコバイ	平年並		
		セジロウンカ	平年並		
		トビイロウンカ	平年並～やや多い		
		コブノメイガ	平年並～やや多い		
		斑点米カメムシ類	やや多い		
		果樹	ナシ	黒斑病	平年並
				黒星病	平年並
シンクイムシ類	平年並				
ハダニ類	平年並～やや多い				
アブラムシ類	平年並				
カキ	うどんこ病			平年並	
	チャノイロアザミウマ			やや少ない～平年並	
	果樹全般 カメムシ類			やや多い	

中国地方1か月予報(7月14日～8月13日・広島地方気象台7月12日発表)
<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



A. 普通作物

1) イネ

(1) 葉いもち

予報内容

発生地方

県内全域

発生量

やや少ない

予報の根拠

- ① 7月上旬の巡回調査では、発生を認めていない（平年の発生ほ場率は4.6%、発病株率は1.3%）。
- ② 県内で「コシヒカリ」の一部ほ場で発生が確認されている。
- ③ 7月5日～10日を中心に感染好適日が出現している。
- ④ 向こう一か月の気象は、本病の発生に抑制的である。

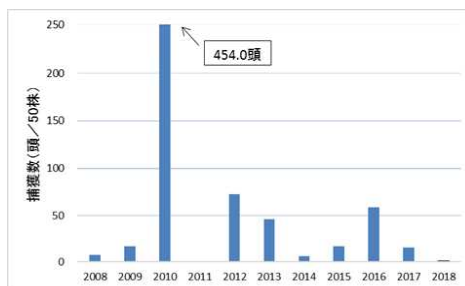
- (2) 穂いもち
 予報内容
 発生地方 県内全域
 発生量 やや少ない
 予報の根拠
 ①伝染源となる葉いもちの発生量はやや少ないと予想される。
 ②向こう一か月の気象は、本病の発生に抑制的である。
- (3) 紋枯病
 予報内容
 発生地方 県内全域
 発生量 平年並
 予報の根拠
 ①7月上旬の巡回調査(70ほ場)では、発生ほ場率は2.9%(平年7.1%)、発病株率が0.1%(平年0.7%)と平年に比べてやや少ない。
 ②向こう一か月の気象は、本病の発生にやや助長的である。
- (4) 白葉枯病
 予報内容
 発生地方 県内常習発生地帯
 発生量 平年並
 予報の根拠
 ①7月上旬の巡回調査(70ほ場)では発生を認めていない。
 ②5月～7月の累積降水量は625.0mmと平年(582.6mm)に比べて多い。
 ③向こう一か月の気象は、本病の発生にやや抑制的である。
- (5) 縞葉枯病
 予報内容
 発生地方 県内全域
 発生量 平年並
 予報の根拠
 ①媒介虫であるヒメトビウンカの発生量は平年並み～やや多いと予想される。
 ②4月中旬の越冬世代成幼虫のイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率は0%(過去9年の平均1.5%)と低い。
- (6) ヒメトビウンカ
 予報内容
 発生地方 県内全域
 発生量 平年並～やや多い
 予報の根拠
 ①7月中旬の巡回調査では、捕獲数は1.6頭(平年4.8頭/50株)、発生ほ場率は35.3%(平年43.0%)で発生量は平年並みである。
 ②予察灯、粘着誘殺灯、ネットトラップにおける誘殺数は平年並みである。
 ③向こう一か月の気象は、本種の発生に助長的である。
- (7) ニカメイチュウ(第1世代)
 予報内容
 発生地方 県内全域
 発生量 平年並
 予報の根拠
 ①予察灯、フェロモントラップにおける誘殺数は平年並みである。
 ②7月中旬の巡回調査では、発生ほ場率は0%(平年8.1%)、被害株率は0%(平年0.3%)で発生量は平年に比べてやや少ない。
 ③向こう一か月の気象は、本種の発生に助長的である。
- (8) ツマグロヨコバイ
 予報内容
 発生地方 県内全域
 発生量 平年並
 予報の根拠
 ①7月中旬の巡回調査では、捕獲数は5.4頭/50株(平年12.0頭)で平年並み、発生ほ場率は31.4%(平年60.4%)で平年と比べ少ない。
 ②予察灯での誘殺数は39頭(平年21.3頭)で平年と比べてやや多い。
 ③向こう一か月の気象は、本種の発生に助長的である。

(9) セジロウンカ

予報内容
発生地方 県内全域
発生量 平年並

予報の根拠

- ① 7月第1半旬までに予察灯、粘着誘殺灯、ネットトラップで飛来が認められず、誘殺数は平年に比べてやや少ない。
- ② 7月中旬の巡回調査では、捕獲数は0.6頭/50株（平年69.3頭）、発生ほ場率は11.8%（平年68.1%）で発生量は平年に比べてやや少ない。
- ③ 向こう一か月の気象は、本種の発生に助長的である。



(10) トビイロウンカ

予報内容
発生地方 県内全域
発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ① 予察灯、粘着誘殺灯、ネットトラップへの飛来は認められない。
- ② 7月中旬の巡回調査では、捕獲数は0頭/50株（平年0.1頭）、発生ほ場率は0%（平年1.9%）で発生量は平年並みである。
- ③ 向こう一か月の気象は、本種の発生に助長的である。

(11) コブノメイガ

予報内容
発生地方 県内全域
発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ① 予察灯、粘着誘殺灯、フェロモントラップで飛来が認められない。
- ② 7月中旬の巡回調査では、発生ほ場率は0%（平年0.1%）、被害株率は0%（平年2.3%）で発生量は平年並みである。
- ③ 向こう一か月の気象は、本種の発生に助長的である。

(12) 斑点米カメムシ類

予報内容
発生地方 県内全域
発生量 やや多い

予報の根拠

- ① 7月11～12日に出穂している極早生ほ場ですくい取り調査を行ったところ、カメムシ類合計で平均虫数は4.6頭/20回振り（平年7.2頭）と平年に比べてやや少なかったが、発生ほ場率は92.9%（平年80.8%）で平年に比べてやや多い。主要種はアカスジカスミカメである。
- ② 6月下旬のほ場周辺雑草地でのすくい取り調査では、一部の地域で多く捕獲され、斑点米カメムシ類合計で14.9頭/20回振り（平年7.6頭）と発生量は平年に比べてやや多く、発生ほ場率は70.5%（平年67.8%）で平年並みである。
- ③ 向こう一か月の気象は、本種の発生に助長的である。

B. 果樹

1) ナシ

(1) 黒斑病

予報内容
発生地方 ナシ（二十世紀）栽培地帯
発生量 平年並

予報の根拠

- ① 6月下旬の巡回調査では、発病葉率6.6%（平年6.5%）であり、発生量は平年並みである。
- ② 向こう一か月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) 黒星病

予報内容
発生地方 県内全域
発生量 平年並

予報の根拠

- ① 6月下旬の巡回調査では、発病葉率0.9%（平年1.3%）であり、発生量は平年並みである。

- ②向こう一か月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。
- (3) シンクイムシ類

予報内容
 発生地方 県内全域
 発生時期 平年並
 発生量 平年並

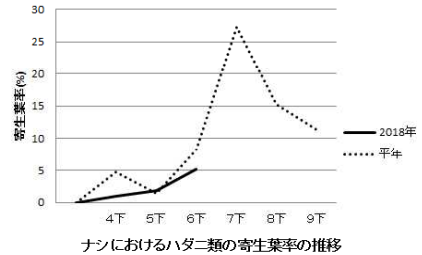
予報の根拠

- ①フェロモントラップ（安来市、出雲市）でのナシヒメシンクイ雄成虫の誘殺時期は平年並み、誘殺数はやや少ない。
- ②向こう一か月の気象は、本種の発生に助長的である。

- (4) ハダニ類

予報内容
 発生地方 県内全域
 発生量 平年並～やや多い
 予報の根拠

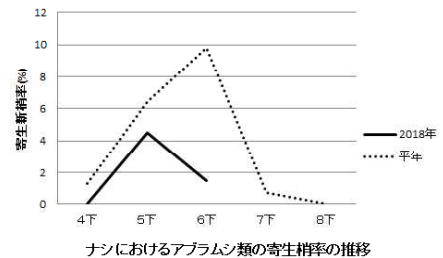
- ①6月下旬の発生量は寄生葉率5.2%（平年8.2%）、寄生虫数11.3頭/50葉（平年17.8頭）と平年並みである（グラフ参照）。
- ②向こう一か月の気象は、本種の発生に助長的である。



- (5) アブラムシ類

予報内容
 発生地方 県内全域
 発生量 平年並
 予報の根拠

- ①6月下旬の寄生新梢率1.5%（平年8.4%）、寄生度0.4（平年3.5）と平年に比べて少ない（グラフ参照）。
- ②黄色水盤への有翅虫飛来数は平年並みである。
- ③向こう一か月の気象は、本種の発生に助長的である。



2) カキ

- (1) うどんこ病

予報内容
 発生地方 県内全域
 発生量 平年並
 予報の根拠

- ①6月下旬の巡回調査では、発病葉率0.73%（平年0.42%）であり、発生量は平年に比べてやや多い。
- ②向こう一か月の気象は、本病の発生に抑制的である。

- (2) チャノキイロアザミウマ

予報内容
 発生地方 県内全域
 発生量 やや少ない～平年並
 予報の根拠

- ①露地ほ場に設置した粘着トラップでの誘殺数は平年に比べてやや少ない。
- ②向こう一か月の気象は、本種の発生に助長的である。

3) 果樹全般（カキ、ブドウ、ナシ等）

- (1) カメムシ類

予報内容
 発生地方 県内全域（特にナシ無袋、カキ栽培地帯）
 発生量 やや多い
 予報の根拠

- ①6月第5半旬までのフェロモントラップによるチャバネアオカメムシの誘殺数は185頭（平年218.1頭）と平年並みである。
- ②6月第5半旬までの予察灯でのチャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ3種の合計誘殺数は253頭（平年118.8頭）でやや多い。
- ③向こう一か月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

島根県病害虫防除所

TEL 0853-22-6772

FAX 0853-24-3342

ホームページ

<http://www.pref.shimane.lg.jp/nogyogijutsu/byougaityuu/>